

第1回人吉球磨定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

■開催日時 令和4年10月13日(木)午後3時～

■開催場所 カルチャーパレス 2階 第一会議室

■出席者 ビジョン懇談会委員20名/24名中の出席

| No | | 団体名(所属) | 役職名 | 氏名 (フリガナ) | |
|----|-------|----------------|------------------|--------------|----|
| 1 | 人吉市 | 熊本県立大学総合管理学部 | 教授 | 井田 貴志 | 出席 |
| 2 | | 人吉市医師会 | 監事 | 岐部 明廣 | 出席 |
| 3 | | 人吉温泉観光協会 | 副代表理事 | 川野 精一 | 出席 |
| 4 | | 球磨焼酎酒造組合 | 副理事長 | 堤 純子 | 出席 |
| 5 | | 人吉商工会議所 | 専務理事 | 今村 修 | 出席 |
| 6 | | くま川鉄道株式会社 | 取締役社長 | 永江 友二 | 出席 |
| 7 | 錦町 | 球磨地域農業協同組合 | 理事 (営農購買専門委員) | 久保田 徳男 | 出席 |
| 8 | | 錦町農業委員会 | 農業委員 | 尾方 安枝子 | 出席 |
| 9 | 多良木町 | 球磨郡公立多良木病院企業団 | 事務長 | 黒木 政裕 | 出席 |
| 10 | | 多良木町文化協会 | 会長 | 竹原 篤子 | 出席 |
| 11 | 湯前町 | 湯前町区長会 | 会長 | 中武 義秋 | 出席 |
| 12 | | 湯前町文化財保護委員会 | 会長 | 溝下 昌美 | 出席 |
| 13 | 水上村 | 水上村立保育所 | 所長 | 立尾 一貴 | 出席 |
| 14 | | 水上村社会福祉協議会 | 福祉活動専門員 | 中原 奈々 | 出席 |
| 15 | 相良村 | 相良村商工会 | 青年部長 | 牧野 耕丈 | 欠席 |
| 16 | | 相良村有害鳥獣捕獲隊 | 隊長 | 岩田 明博 | 欠席 |
| 17 | 五木村 | (株)子守唄の里五木 | 駅長 | 井元 淳 | 出席 |
| 18 | | 五木村観光情報センター | センター長 | 仮山 常雄 | 出席 |
| 19 | 山江村 | NPO法人ちやリンクやまえ | 専務理事 | 本山 民子 | 出席 |
| 20 | | 山江村民生委員児童委員協議会 | 会長 | 谷川 安照 | 出席 |
| 21 | 球磨村 | 球磨村森林組合 | 参事 | 犬童 大輔 | 欠席 |
| 22 | | 球磨村教育委員会 | 教育委員 | 中井 久美 | 出席 |
| 23 | あさぎり町 | あさぎり町深田校区婦人会 | 会長 | 白柿 悦子 | 出席 |
| 24 | | あさぎり町農業女性の会 | 会長 | 藤原 ルミ子 | 欠席 |

【幹事会】

| 市町村名 | 課名 | 職名 | 氏名 |
|-------|-------|----|--------------------------|
| 錦町 | 企画観光課 | 課長 | 岩尾 和文 (代理出席 主幹 中村 裕二) |
| 多良木町 | 総務課 | 課長 | 仲川 広人 |
| 湯前町 | 企画観光課 | 課長 | 本山 りか |
| 水上村 | 総務課 | 課長 | 田代 浩章 |
| 相良村 | 総務課 | 課長 | 川邊 俊二 |
| 五木村 | 総務課 | 課長 | 竹村 文秀 |
| 山江村 | 総務課 | 課長 | 平山 辰也 |
| 球磨村 | 復興推進課 | 課長 | 友尻 陽介 |
| あさぎり町 | 企画政策課 | 課長 | 荒川 誠一 |

【オブザーバー】

| | | | |
|---------------------|-------|----|-------|
| 熊本県南広域本部 球磨地域振興局 | 総務振興課 | 課長 | 霜出 豊和 |
|---------------------|-------|----|-------|

【部会事務局】

| 部会名 | 検討母体 | 事務局 市町村 | 担当課 | 役職 | 氏名 |
|-----------|----------------------|------------|-------------------------|---------------|--------|
| 救急医療部会 | (球磨圏域保健衛生協議会でまとめている) | 人吉市 | 保健センター | 所長 | 迫田 洋子 |
| 発達相談部会 | 球磨圏域乳幼児発達相談事業運営協議会 | | | | |
| 障がい者(児)部会 | 人吉球磨障がい者総合支援協議会 | 人吉市 | 福祉課 | 係長 | 岩崎 友和 |
| 文化部会 | 球磨地域文化財広域連携協議会 | 人吉市 | 文化課 | 課長補佐 (兼係長) | 嶋田 敏朗 |
| 観光部会 | 市町村企画・観光担当者会議 | 人吉市 | 商工観光課 | 係長 | 松島 泰代 |
| 農業部会 | くま農業活性化協議会 | あさぎり町 | 農林振興課 | 課長補佐 | 橋本 英樹 |
| 林業部会 | | 人吉市 | 農林整備課 | 課長補佐 (兼係長) | 上村 勝 |
| しごと創生部会 | 人吉・球磨しごと創生連絡協議会 | あさぎり町 | 商工観光課 | 参事 | 岩本 祐一郎 |
| 鳥獣害対策部会 | 球磨地方公有林経営協議会 | 錦町 | 農林振興課 | 主事 | 牟田 勇佑 |
| 消費生活部会 | 人吉球磨生活支援ネットワーク | 人吉市 | 地域コミュニティ課 (消費生活センター) | 課長補佐 (兼係長) | 舟戸 章吾 |
| 地域公共交通部会 | 人吉球磨地域公共交通担当課長会 | 人吉市 | 復興支援課 | 課長補佐 (兼係長) | 白坂 禎敏 |
| 人材育成部会 | 人吉球磨総務担当課長会 | 人吉市 | 総務課 | 課長 | 森下 弘章 |

【事務局】

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|---------------|-------|
| 人吉球磨定住自立圏推進協議会事務局 | 人吉市 | 復興政策部 | 部長 | 浦本 雄介 |
| | | 復興政策部 | 政策統括監 | 小林 俊郎 |
| | | 復興政策部 復興支援課 | 課長 | 竹内 常泰 |
| | | | 課長補佐 (兼係長) | 和泉 龍二 |
| | | | 主任 | 古賀 靖章 |
| | 主任 【担当】 | 源島 梢 | | |

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付（新任委員）
- 3 市長挨拶
- 4 出席者紹介
- 5 会長及び副会長選任
今村委員からの推薦で、井田委員が会長、竹原委員が副会長に再任。
- 6 会長挨拶
- 7 議事（1）人吉球磨定住自立圏共生ビジョン概要について
（2）第2次共生ビジョンの進捗状況について
（3）ビジョン改定内容について
- 8 その他
- 9 閉会

■ 議事内容

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>議事（1）人吉球磨定住自立圏共生ビジョン概要について</p> <p>資料1に基づき事務局説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住自立圏構想の概要 ・本圏域の定住自立圏形成とこれまでの経緯 |
| 各委員 | （意見なし） |
| 事務局 | <p>議事（2）第2次共生ビジョンの進捗状況について</p> <p>資料2・資料3に基づき事務局説明</p> <p>（主な説明点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2は第2次共生ビジョンの進捗状況として、令和3年度末時点のKPI進捗状況をまとめている。 ・資料3は各事業の事業概要や取組内容を記載している。 <p>資料2について</p> <p>定住自立圏においては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 生活機能の強化に係る政策分野 2) 結びつきやネットワーク強化に係る政策分野 3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 <p>3つの施策分野ごとに、色分け。</p> <p>資料2の裏面には、各事業別ごとに基準値・最新値・目標値を記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成状況Cの「今の傾向だと達成できない見込」の項目について、要因等を説明。 |

・1番 圏域人口、2番 高齢化率は、最新値と目標値を比較すると、令和2年 時点では目標値を超えているが、人口は、減少傾向にあるため、現状のまま進むと 圏域人口の増加と高齢化率を下げることは難しいと見込めるため、達成状況はC。

・6番の准看護学院入学者数。

取組み内容は資料3のP4・5。

少子高齢化により、受験者数自体が減少しているためCの今の傾向では達成しない見込。

・7番の卒業者管内就職者数は、6番の准看の入学者数が増えないため、卒業後の就職者数も増えていなことが要因。

・11番 障がい児療育支援事業の養育支援件数。資料3はP12・13。

療育支援事業のうち、外来療育等指導事業について、市保健センター実施の巡回相談支援整備事業に機能を移管したため、実績が減少。

・12番 緊急対応ケース数。資料3はP14・15。

障がい者(児)地域生活支援拠点整備事業の目的は、支援が必要な対象者を事前に把握し、必要な機能を整備することで円滑な支援体制を構築するというもの。

成果指標とし掲げている「緊急対応ケース数」が増えることは、事業目的の支援体制が拡充したという図式にはならないという意見が担当部会内でもあったと報告あり。今年度の運用状況を踏まえた上で、支援体制を構築するとういう事業目的に沿ったKPIとして拠点登録事業所数にKPIを変更することを担当部会内で検討。

・13番 文化財保護活用事業の球磨地域学履修者数。資料3はP17。

コロナ禍の影響より講座を実施できていないため令和3年度実績人数はゼロ。

・16番 サイクルツーリズム推進事業の自転車ネットワーク整備延長数。

資料3はP21・22。県(振興局)が整備している計画をもとに目標値を設定しているため、実績と差が出ている。

・28番 消費生活相談業務の被害回復。資料3はP39・40。

令和2年7月豪雨での悪質リフォーム業者の高額な被害等があり、回復率が下がっている。

・30番 学校での授業を支援した回数は、コロナ禍により、授業を優先せざるを得ず、中止となった出前講座もあったため実績回数が減っている。

・33番 人吉球磨地域公共交通活性化事業のコミュニティバス及び乗合タクシー等の乗車人数。資料3はP42・43。

コロナ禍・令和2年7月豪雨の影響から実績値が下がっている。

| | |
|------|---|
| | <p>・34番 合同職員研修開催事業の合同研修開催数。資料3はP45・46。 コロナ禍・令和2年7月豪雨の影響で達成できていない。</p> <p>てKPI 36項目のうち11項目が達成済、今の傾向では達成しない見込が、12項目で33%。</p> <p>令和2年7月豪雨やコロナ禍の影響をうけている事業もあるため、今後は、災害からの復旧・復興をすすめ新型コロナウイルス感染症対策を日常生活に取り入れた「新しい生活様式」を実践していきながら、引き続き圏域自治体と連携し 圏域全体の活性化を図るための事業を継続的にやっていく。</p> |
| | <p>議事（2）第2次共生ビジョンの進捗状況について に対する委員質疑</p> |
| 溝下委員 | <p>観光地域づくり協議会のことを知らない人が多い。もっと広報をお願いしたい。</p> <p>平成27年に人吉球磨は日本遺産に認定されており日本遺産協議会というものが設立されている。</p> <p>観光地域づくり協議会のパンフレットにも、日本遺産のことは取り上げてあるが、観光地域づくり協議会のコンセプトが例えば、人吉城のことを三日月城、三日月姫という売り方をされている。我々の立場からすると、もう少し日本遺産との整合性も今後検討してもらいたい。</p> |
| 事務局 | <p>観光地域づくり協議会の担当者が不在のため、日本遺産の連携という溝下委員のご意見は、担当者に伝える。</p> |
| 事務局 | <p>議事（3）ビジョン改定内容について</p> <p>資料3・資料4・資料5に基づき事務局説明 （主な説明点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の概況について、 構成市町村の地勢・沿革をR4年4月1日現在の情報に更新。 資料5ではP3～P8。今回変更した箇所はピンク色で記載。 <p>令和2年の国勢調査の公表値を資料5のP9～P12の圏域の人口・産業の実績値に反映。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人吉球磨定住自立圏の将来像について 資料5ではP13・14。令和2年の国勢調査の公表値また各自治体の最新の人口ビジョンをもとに情報を更新。 ・具体的な取組み内容について 医療従事者・育成支援事業について、事業名を医療従事者確保・育成支援事業となり |

| | |
|---------|--|
| | <p>『確保』の文言を追加。</p> <p>事業概要は、人吉球磨圏域の産婦人科医師の減少が大きな課題となっており、迅速な緊急対応が必要とされる産科救急疾患や多胎妊娠等のハイリスク妊婦の対応について、今後、産科医療体制充実のため地域産科中核病院への産婦人科医師確保に向けた取組みをすすめていくこととし概要を追加・変更。</p> <p>事業概要を変更することに伴い、成果指標に産婦人科医師数を追加。</p> <p>・サイクルツーリズム推進事業において 成果指標を、自転車ネットワーク整備延長というハード事業のみのため、ソフト事業としてサイクルイベントの参加者数を追加。</p> <p>資料5のP16以降の資料編におきましても、最新の情報に更新。</p> |
| | <p>議事（3）ビジョン改定内容について に対する委員質疑</p> |
| 今村委員 | <p>熊本県内ではTSMCの進出について、県知事からも県下に効果をいきわたらせたいと発言があった。</p> <p>人吉球磨圏内自治体で、TSMC関連の企業誘致で動いている自治体はあるのか。</p> <p>また、そういった取組をビジョンの中に取り組みすることはできないか。</p> |
| しごと創生部会 | <p>しごと創生部会は、10市町村で構成する人吉・球磨しごと創生連絡協議会を立ち上げ事業を行っている。</p> <p>協議会では令和2年度からTSMC対策を事業の一つで取り組み、情報収集を行っている。</p> <p>現在、TSMC関連の企業誘致で動いている自治体は存じ上げていないが、工場が稼働する令和5年以降に企業の動きが活発になると考えている。</p> <p>重要なことは受入れ体制を整備することだが、人吉球磨管内は有効求人倍率が県内でも高く人手が足りない。地元企業の受け入れ状況を加味し、自治体間で協議しながら恩恵を受けられるように取り組んでいきたい。</p> |
| 今村委員 | <p>関連企業が誘致できなくても、人吉球磨で保養施設として使ってもらうなど色々なことが考えられると思う。色々な切り口の取組みを考えてもらいたい。</p> |
| しごと創生部会 | <p>人吉球磨ではワーケーションという観光と仕事（ワーク）を結び付けた取組みをしている。県北と県南では状況は異なるが、落ち着いた環境を提供できるというような別の切り口での取組みを部会でも検討していきたい。</p> |
| 井田会長 | <p>今意見があったように、工場がくることにより様々な可能性が広がると思うので多角的な視点で取り組んでもらい。</p> |

| | |
|------|---|
| | ビジョンは残り1年半での取組みになるので、要望も含めご意見があればお願いしたい。 |
| 岐部委員 | 休日在宅医参加医療機関数について、水害により令和3年度に廃院になり数が減っている。 目標値が医療機関数になっているのがおかしい。例えば、救急で受診できなかった人数や救急車でたらい回しになった件数など、私もこれといったアイデアはないが医療機関数は、閉院すればどうしようもない。 合併することもあるので、数が減ることは悪いこととは限らないので、その辺りを考えてもらいたい。 |
| 医療部会 | 指摘のあった KPI の設定については、実体と事業の中身と整合性がとれていない部分があるので今後、協議していきたい。 |
| 岐部委員 | 人吉医師会と球磨郡医師会の両方で準看の経営をしようと話がすすんでいる。先生達から、準看は人材確保に役に立っているので定住自立圏で支援してもらいたいと話があった。予算については、確定していることなのか。 |
| 井田会長 | 資料3の事業費が R6 年度まで計上されているが、それは動かない数字なのかそれとも動く数字なのか事務局から説明をお願いしたい。 |
| 事務局 | 記載の数字は、部会から報告を受けている数字。 準看の補助金の数字になると思う。固まっている数字ではないと思うので、持ち帰り、部会の方にご意見があったことを伝え協議をすることになる。 |
| 井田会長 | 今説明があったように R5、R6 の事業費については部会で検討し事務局にあがってきている数字。 第3次のビジョンで、どうするかということにもなると思うので R5 年度の数字から話が続くかと思う。 岐部先生も言われたように、事業を達成することが目標。 KPI は進捗状況を測る指標にすぎない。指標を達成したからといって満足されると困る。 |
| 川野委員 | サイクルツーリズムの事業について、ハード事業には限界があるということと水害やコロナでダメージを受けている当地としては、サイクルイベントを指標に入れたことは評価できる。 広域で事業を行うにあたっては、各市町村の協力が必要。広域ネットワークを発展させて横のつながりを作り、人吉球磨に残されている文化財を周知してもらえようようなグローバルな事業展開をお願いしたい。台湾からは自転車を持参して、ツーリングをされる方もいる。インバウンドのサイクルツーリズムにからめた誘致等を |

| | |
|-------|--|
| | 協議していただけるとありがたい。 |
| 久保田委員 | 准看の入学者数は、人吉球磨圏内の方々なのか。それとも人吉球磨以外からも入学者数はいるのか分かれば教えてほしい。 |
| 医療部会 | 人吉市の准看護学院事務局からの報告をまとめた数値で提出いただいている。入学者数の比率や詳細な内容は把握していない。申し訳ございません。 |
| 井田会長 | できれば、こういう質問があると想定し、必要な情報は可能な限り持参していただきたい。准看については、今まで何回も議論になっている。域内から入学しているのか、そうでなければ、どこに情報提供して入学者を増やす術があるのかの検証が必要。これは、どこの学校でもおこなっていること。 能動的な行動をやっていて、この数値になるのか、何もせずにこの数値なのかは各部会で確認をしてもらいたい。 |
| 堤委員 | どこの業種も人手不足で、良い人材がいらないか日々思っている。 この会で、移住定住の話をしてよいか分からないが、先ほどワーケーションという言葉があったように企業誘致ではなくて、人の誘致が必要。 移住を考える人にとっては、どういう企業・産業があるかは重要。コロナで都会から田舎へという流れもでてきているので人口を増やすことも考えていかないといけない。要望になるが、ワーケーションや移住定住していただける方を色々な施策をもって人吉球磨に来ていただけないかということを考えてもらいたい。また、仕事とのマッチングも盛り込んでいただきたい。 求人募集をかけても、応募がない状態。全国から人吉球磨に人を呼び込んでいただくようなビジョンを入れてもらえるとありがたい。 |
| 井田会長 | 企業がくれば、人がくるという発想だったが、時代は変わりコロナの影響もあり人が来ることにより商業施設がくるという地域が多くある。 またはTMSCのように行政が、花火をあげて、その花火に向けて人がくるというパターンもある。 今、情報発信は色々手法がある。HPはアクセスしないと見られない。情報をHPに載せても人が見ないと意味がない。HPを見らせるためのプラスアルファがないと情報発信にはならない。それも含め、人が来ないと地域は潤わないので、直接関係なくても間接的にどの分野も関係すると思うので人が来る、移住する手立てを部会で考えてもらいたい。 その他質問がなければ、全ての議事について協議を終了する。 |